



# 工高タイムス

北海道旭川工業  
高等学校新聞局  
〒078-8804  
北海道旭川市緑が丘  
東4条1丁目1-1  
発行人(局長)  
佐々木 晃成  
(電気科3年)

## ものづくり コンテスト

工業化学科

化学分析部門

### 宮腰君 最優秀賞を受賞

#### 「慎重な作業で全国に臨む」

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会の化学分析部門が6月21日に旭工で行なわれ、工業化学科3年生の宮腰知斉君が最優秀賞、3年生の上出博弘君が優良賞を受賞し、宮腰君は全国大会へ出場する。



最優秀賞の賞状を持つ宮腰知斉君(化3)

最優秀賞を受賞した宮腰君「ときにちょうど良いタイミングは、大会ではキレート適定のグで溶液を入れ終わったのが良かったという。」

また「審査員から『ホールピペットに試料水が残ったまま他の作業を進めてしまったらダメ』とアドバイスされたので全国大会に向けて、細かい部分の気を付けて作業する」と語った。

宮腰君は「1年生のときは結果を残せず悔しかったが、今回は良い結果を残せてうれしい。EDAT溶液を入れるときに時間が少なく焦って2回ほどこぼしてしまった。慎重に作業すれば良かった」と話した。

### 計算の正確性を競う

#### 「後輩の育成に力を」

土木科

測量部門

土木科は3年生の秋山雄星君と竹内大輝君、2年生の秋好輝君の3人が8月8〜9日に苫小牧工業高校で行なわれる第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会に出場する。

ロック大会の測量部門に出場する。グラウンドに設置されたタックピンでできた五角形の角度や距離を測量し、計算の速さや正確性を競う。大会に向けて測量や計算練習を週数回行ない、大会が近くなったら毎日行なう。本番を

## ボクシング部



ファイティングポーズをとる石山君

### 石山君 W級で優勝

#### 全国で「一試合でも多く勝つ」

ボクシング部は6月4〜7日に札幌市で行なわれた第77回北海道高等学校ボクシング選手権大会に出場し、部長の石山凱也君(土3)がウェルター(W)級で優勝し、全国大会出場を決めた。団体では準優勝した。

石山君は団体準優勝について「団体で上位に入賞できたのは札幌以外では旭工



趣味はカラオケ

### 全道では表情豊かに 体験発表 工業部会で最優秀 田中康暉君(機3)

#### 旭工 ライフ

第36回北海道高等学校産業教育意見・体験発表大会工業部会の部が6月12日に苫小牧工業高校で行なわれ、最優秀賞を受賞した。

「人として整備士としていざプロの世界へ」というテーマで、旭工に入って専科で学んだことを就職にどう役立てていくかについて発表

した。最優秀賞を受賞できるとは思わなかった。本番ではかまずに、聞いていた苦工生の目を見て話せたので良かった。練習では岸美千代先生や日野秀一先生から発表するときの表情や雰囲気などを詳しく教えてもらって改善し、発表練習をして聞き取りやすい発表にするよう心がけた。また、次の大会に向けて話すときは間を工夫し、表情に気を付けた。

第36回北海道高等学校産業教育意見・体験発表大会は10月8日に江別高校で行なわれる。



気合十分な秋好君と秋山君と竹内君(左から)

また、個人戦では「全道大会に出場する人は皆仕上がっていて、盛り上がった試合が多くすごく勉強になった。試合ではロングのストリートがよく当たったのが勝因だ」と語った。全国大会に向けて「リーチがあり身体が大きな選手が苦手なので、しっかり対策を練る。今回の経験を生かして一試合でも多く勝ち上がりたい」と抱負を語った。

全国大会は8月7〜13日に佐賀県で行なわれる。



野球の全校応援が6月28日と30日にスタルヒン球場で行なわれた。30日の全校応援は今までに体験したどんな応援よりも力強く、夏の日差しや蒸し暑さを感じさせないほどだった▼私はこれまで5回全校応援に参加したが、あんなに盛り上がったことはない。その理由は旭川永嶺高校とかなりの接戦になったからだ。10回表が終わる5対4で旭工があと1点取らなければ敗退という状況になった。10回裏に選手の負傷によって試合が中断され、そこで永嶺が応援を始めた。それに呼応するように旭工も負けじと自主的に校歌を歌い始めた。両者とも一丸となって応援合戦になった。旭工の歌声は球場の近くにある私の父の職場にまで届いていた▼全校生徒からの応援を受けた野球部主将の平田敦梓君(情3)は「打席に入るたびに名前を叫んでくれて後押しになった。校歌は球場を包み込んで盛り上がりすかった」と話した。また「全校生徒の後押しがあったからこそ選手も試合に集中できた。試合には負けてしまったが、後輩には頑張ってもらいたい。応援ありがとうございました」と感謝を述べた▼自主的に応援を始めた、校歌を歌い始めた自分たちから大会を盛り上げようという行動する人が多かった。先日の全校集会で、先生方から行動することは大事だ。全校応援に限らず、これからも様々なことに自ら取り組んでいこう。(電3菅原)

# 全道ベスト8に 相手の嫌がるディフェンスを

## バスケット部



笑顔の鹿原挑夢君(化3)

バスケットボール部は6月20〜23日に小樽市で行われた全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会北海道予選会でベスト8に入った。バスケットボール部は1回戦で岩見沢緑陵高校に80対57、2回戦で中標津高校に67対60で勝利し、3回戦で旭川龍谷高校に41対69で敗れ、ベスト8となった。

部長の鹿原挑夢君(化3)は「1、2回戦はディフェンスでゴール下を空けてしまう課題があったが、勝って良かった」と話した。12月にある最後のウィ

### 美術全道

## ポスターの原画は天池さん ピンクを基調にポップに

第58回全道高等学校美術展・研究大会が10月9〜10日に大雪アリーナで行なわれる。旭工は当番校を務める。大会のポスターは顧問の福澤等先生に推薦され、天池美生さん(建3)が原画を描いた。天池さんは作品のコンセプトを「大会スローガンが『リアルをこの手に・広がる



天池さんが原画を描いたポスター

個性の化学反応」とポップな感じなので、単色のピンクを

た。3回戦は相手チームのペー

中学生や高校生が鑑賞でき

基調に、使っていない色がな

## 吹奏楽部 音楽大行進 20人で演奏



晴天の中を行進する吹奏楽部

第92回北海道音楽大行進が6月8日に行なわれた。81団体、約2500人が参加した。8条7丁目の斜線道路から南へ進行し永隆橋通を通り1条10丁目まで行進した。44番目

晴

## 旭工の良さを伝える 子どもから大人まで楽しむ

### まちなかキャンパス2024

SDGsをテーマにした「まちなかキャンパス2024」が6月22〜23日に旭川市平和通買物公園で行なわれ、45の学校や団体が参加した。旭工からは5学科がワークショップやイベントに参加した。

建築科では、旭川市役所の椅子に使用された木材の端材



紙やすりの使い方を教える建築科

を使いキーホルダーを作成するワークショップ「こっぱキーホルダーをつくろう」を行ない、紙やすりで角取りをする体験会を行なった。

山口隆太君(3年)は課題研究で自分の実習班が木材加工班なので参加したという。「子どもから大人まで様々な人が来客したが、比較的孩子が多かった。目線を低くし

て難しい言葉を遣わないようにしながら、たとえを多く交えて分かりやすく教えた。反省点は仕上げで自分たちがキーホルダーの金具の取り付け作業に時間がかかり、お客さん

ターや肉球などをデザインしたコンクリート製のペーパーウェイトづくりのワークショップ体験会を行なった。

堂新橋樹希君(3年)は良い社会経験になると思い参加したという。「準備は3週間前から進め、担当の基板の穴あけとやすりがけを頑張った。当日はお客さんがたくさん来てすごく人気だった。はんだごてを使用するので子どもに火傷をさせないよう気を付けた。大変だったが子どもたちが喜んでくれるとうれしく、達成感があった」と語った。



飾り付けを用意する電気科



セメントを混ぜるを手伝う土木科

電気科は6月23日に3年生3人、1年生2人が参加した。小、中学生を対象に交互に光るLEDの回路をはんだづけをして作り、紙コップに飾り付けをしてそれをかぶせたランプの製作をした。



ゲームを教える情報技術科

「ぼっこでPON」というゲームと2Dランアクションゲームム、学校が舞台の脱出ゲームなどの体験会を行なった。

吉田壮汰君(3年)は「先生から声をかけられ、1年生のときから毎年参加している。色々な人と話し、学校の良さが伝わる良いイベントだと思

清水亮太君は「ポロシャツが旭工の宣伝になった。自分たちでは当たり前のことを披露しているのに、来場者には『旭工の活動はすごい』と言われ、自分たちにはかきできないことをしていると感じ、心に残った」と語った。

ウェブ掲載用紙面は、画像の一部を加工しています。